



自己紹介

西川 有記 -にしかわ ゆうき-

出身地: 長崎市生まれ 名古屋市育ち

活動地: 平戸市根獅子町・飯良町 令和8年1月着任

活動内容: 『農村 稼ぐ力支援プロジェクト』

・農事・特産品開発・情報発信・まちづくり運営協議会支援

ひとこと: 「夏は過ぎれど、更なる小麦色の肌を手に入れたがっている私があります。」



晴れた日には、秋野菜の種まきを



秋晴れと呼ぶにはまだ暑すぎる9月上旬。畑に堆肥をまき、秋冬野菜の種まきと苗づくりを行いました。
今回は出荷販売と併せ、地元イベントでの提供を見据えて大根を多く植えたのですが、、もしかしたら植え過ぎたかもしれません。調子に乗って様々な品種の種を購入したのですが、大根って一袋にもの凄いの量の種が入ってるんですね。植えても植えても種が減らん……。ご近所の農家さんに「こりゃ～間引きが大変たい」と心配される始末。どうする!?どうなる!?秋冬栽培。

大根の他にも、各種根菜や葉物・豆類を定植しています。農事研修1年目も後半戦。愛情込めて育てて、農業の苦労と喜びを味わいたいと思います。

また、まち協として取り組む新たな栽培品目として、ジャンボにんにくを植え付けました。



通常のニンニクの5～6倍の大きさに育つジャンボにんにく。実はにんにくではなく、ネギの仲間です。



高齢の方でもお子さんでも、忙しい方でも私のような畑仕事の初心者でも日頃の育成の手間を極力抑えつつ、かつ収益性の見込める作物として今回試験的に栽培するものであり、地域の方にも今後の育成の様子を楽しんでいただければと思います。そしていよいよ収穫の時期を迎えた際にはぜひ皆さんのお力をお借りしながら掘り起こしたいと考えていますので、ご協力いただくと嬉しいです。

一泊二日で農場視察へ

農場視察の為、熊本県玉名市の柑橘農家さんを訪問しました。栽培品目は温州みかん、清見オレンジやかぼすなど。玉名平野を眼下に見下ろす広大な農場の斜面には無数の樹が植えられ、その一本一本に元気な実がついていました。「いかに子どもたちにも安心して食べてもらえるみかんを作るか?」農場主さんの情熱を持ち続ける姿勢と試行錯誤の歴史に、多くのことを学ばせていただきました。



10月の活動予定

10月は秋のイベント目白押し! というわけで、平戸市内各所で様々な催しが行われる中、協力隊としては24日(土)25日(日)に開催される平戸くんち城下『つんの一で祭』と、翌週31日(土)1日(日)に開催される平戸中部地区『越南まつり』にて、押し寿司をはじめとした物産品の販売員として出動します。県内外から多くの方が来場される貴重な機会。どんなものが好まれているのかしっかりとリサーチいたします。

また農事については、引き続き秋野菜の育成と、出荷を間近に控えたミモザのお世話を中心に、その様子も随時Instagramにアップしていきますので、よろしければご覧ください。

-農事、移住初心者目線のInstagram-

アカウント名『ド素人からはじめる畑仕事奮闘記@長崎平戸』
ぜひフォローの上、応援してください♪

